

お腹から声を出し、気分爽快!



「新興吟詠会」大津教室(左端が馬場さん)

詩

吟

を楽しもう

新興吟詠会歌

平岩 松頼 (一九七八年)

博愛の精神 憂国の情
新興の同志 断金の盟
誠なる哉 生氣 乾坤の裏
民三の 旌旗 永久に 栄えん

愛精神愛国情 新興同志断金盟 下平声(八虎韻)
或生氣乾坤裏 民主旌旗永久榮

「新興吟詠会」の会歌

独特の節回しで漢詩を吟詠する「詩吟」。腹の底から声を出すので健康にもいいと聞きます。昨年2月に「新興吟詠会」大津教室を立ち上げた馬場勝さん(70=大津市在住)に伺いました。

「健康にもいい」と評判

詩吟というと「川中島」や「白虎隊」を思い浮かべる方も多いでしょう。武士が作った剣舞から始まったもので、戦いを鼓舞するものといわれますが、漢詩なので李白や杜甫の詩も詠います。もちろん、日本独特の文化です。

詩吟は、吟詠のときの姿勢、呼吸法、発声法を習得することが基本です。

まず姿勢を正し、おへその下(丹田)に力を入れ、お腹から声を出します。ぐっとお腹に力を入れ、呼吸を押し上げるように声帯に当てて声を出すので、腹筋が強くなりまします。また呼吸は腹式呼吸で、肩を上下させないことが肝要。口も大きくあけ、ハッキリ発音することを心がけます。

脳梗塞で言語障害になった方が、詩吟を始めてから回復が促進した例もあり、健康にもいいのです。

詩吟は音痴でも歌が下手でも、誰でも吟詠できます。朗々と詠いあげれば気分爽快になること請け合いです。

「ぜひ見に来て」 「新興吟詠会」大津教室

「新興吟詠会」は1978(昭和53)年に創設された、憲法と平和を尊ぶ革新吟詠会。古来からの詩吟の伝統を受け継ぎながら、「創作吟」で今の政治情勢を批判的に詠っています。

大津教室では、母

音を基本に丹田から声を出す発声練習から始まり詩歌を読み合わせ、楽器コンダクターで音階による吟詠練習をしています。講師は同会大阪支部の天川昇さん。催し物への「出前吟」もしています。

「見学だけでも結構

ですので、ぜひ見に来て」と馬場さん。練習は毎月第2土曜日(今月は10日)13時~16時、大津市民会館2階小4会議室。問合せは呼びかけ人の馬場さん ☎090(6061)4228へ。

28へ。